



Japanese Medical Society of
Arthrokinematic Approach for
Physical Therapist and
Occupational Therapist

日本関節運動学的アプローチ医学会 理学・作業療法士会 第14回 学術集会 [愛知]

AKA-博田法の魅力

会期 2013年 7月21日(日)

会場 ウィンクあいち

学会長 田中 悦子

主催 ● 日本関節運動学的アプローチ医学会
理学・作業療法士会

後援 ● 日本理学療法士協会・日本作業療法士協会



第14回学術集会 [愛知]
参加登録票

会 員 ・ 医 学 会 ・ 非 会 員 ・ 学 生

日本AKA医学会PTOT会
会 員 番 号

氏 名

- 受付時の混乱を避けるため、事前にご記入の上、この参加登録票を「会場受付ブース」にて切り離し、ご提示ください。
- 必要書類をお渡しいたします。
- 参加登録票をお忘れになると、受付にて大変お時間を頂くことがあります。

名札となりますので、事前にご記入の上、当日受付にてネームホルダーを受け取り、会場にてご着用ください。



日本AKA医学会理学・作業療法士会
第14回学術集会 [愛知]

2013年 7月21日(日) 9時30分開場 会場：ウインクあいち

所 属

氏 名

〒

氏 名

様

DVD購入希望の方は、送付先住所・氏名をご記入の上、昼休憩時に専用ブースへ料金を添えてご提出ください。

該当する区分のチェックボックスにチェックを入れてご利用ください。
参加登録票、領収書の再発行には応じかねますので、十分注意してください。

領 収 書

参加費として下記のとおり領収いたしました。

氏 名 _____ 様

- | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|
| 【事前参加登録】 | 【当日参加申込】 |
| <input type="checkbox"/> 会 員 7,000円 | <input type="checkbox"/> 会 員 8,000円 |
| <input type="checkbox"/> 非会員 9,000円 | <input type="checkbox"/> 非会員 10,000円 |
| <input type="checkbox"/> 学 生 2,000円 | <input type="checkbox"/> 学 生 2,000円 |

2013年 7月 21日(日)
日本AKA医学会理学・作業療法士会
第14回学術集会 学会長 田中悦子



Japanese Medical Society of
Arthrokinematic Approach for Physical Therapist and Occupational Therapist

日本関節運動学的アプローチ医学会理学・作業療法士会

第14回 学術集会 [愛知]

テーマ

AKA-博田法の魅力



会期 平成25年 7月 21日(日)

会場 愛知県産業労働センター(ウインクあいち)
大ホール

主催 日本関節運動学的アプローチ医学会 理学・作業療法士会

担当 東海・北陸ブロック

後援 日本作業療法士協会・愛知県理学療法士会・愛知県作業療法士会
日本リハビリテーション病院 施設協会・名古屋市・中日新聞社

INDEX

ごあいさつ	01
会場への交通案内	02
会場案内	03
参加にあたってのお願い	04
座長・演者の方々へのご案内	06
プログラム	07
教育講演	09
特別講演	11
来賓紹介	15
シンポジウム	17
一般演題	27
学術集会開催一覧	34
学術集会組織図	35
次期学術集会開催予定	36
広 告	38

ごあいさつ

第14回学術集会(愛知)

学術集会長 田中 悦子

時下 益々ご清栄の事とお慶び申し上げます。

この度、第14回学術集会を愛知県名古屋市で開催する運びとなり準備を進め、準備委員一同「日本 AKA 医学会理学・作業療法士会学術集会」の重積を果たすべく取り組んでおります。また、ここに至るまでには皆様のご協力もあり大変感謝しております。

今回、学術集会テーマを「AKA-博田法の魅力」とし、AKA-博田法の理論・技術を再確認すると同時に、その高い専門性は、既存の理学・作業療法に衝撃を与え、今後益々進歩し続け魅力を増して行くものと確信しております。

今日の医療はめまぐるしく進歩し、リハビリテーション対象者も多くの疾患を併せ持つ複雑な症状を呈しているケースが多くなりました。このような状況下で、より深く治療という概念に向き合い、どのように関わり向き合っていくのか、専門家として専門性をもった治療としての AKA-博田法を、シンポジウムの中で、会員諸氏の意見を交換する場とし、熱心かつ活発な集会となるようにと思っております。

また、一般演題においても活発な質疑応答が出来るよう時間を設けました。諸先生方の幅広い実践的な活動や取り組みを提案して頂けるものと思っております。

特別講演では、博田節夫先生に「AKA-博田法という技術～その魅力～」として、講演をお願い致しました。加えて教育講演では、農端芳之先生に「AKA-博田法の捉え方」と題してご講演頂きます。今後、理学・作業療法を進める上で、個々の患者さんに最も適した技術として提供し、AKA-博田法が益々発展して行くことが求められていきます。

本学会が会員諸氏にとって、患者さんへのより効果的で魅力ある治療法として、お役に立てることを祈っております。

最後に開催に当たり、関係諸団体の皆様には多大なご支援を賜りました。運営スタッフを代表して、心から感謝申し上げます。

会場への交通案内

学 会 場：愛知県産業労働センター(ウィンクあいち)

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4-4-38

懇親会会場：キャッスルプラザ 〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4-3-25 TEL 052-582-2121



□ … ユニモール(地下街)出口 ○ … 地下鉄出口

■ 電車をご利用の場合

[JR・地下鉄・名鉄・近鉄] 名古屋駅(桜通口)より徒歩約5分

JR(東海道新幹線)をご利用の場合 ◎東京……約97分 ◎新大阪…約51分

※地下道を利用される場合は、JR 桜通口側、高島屋、JR セントラルタワーズ前の
◎(地下鉄東山線入口)から地下に入り、ユニモール5番もしくは7番より地上に上がりますと便利です。ただし、このルートでは、地下と地上の間には階段しかございません。

■ お車をご利用の場合

名古屋高速都心環状線「錦橋」出口より約6分

駐車場…収容台数123台(有料)

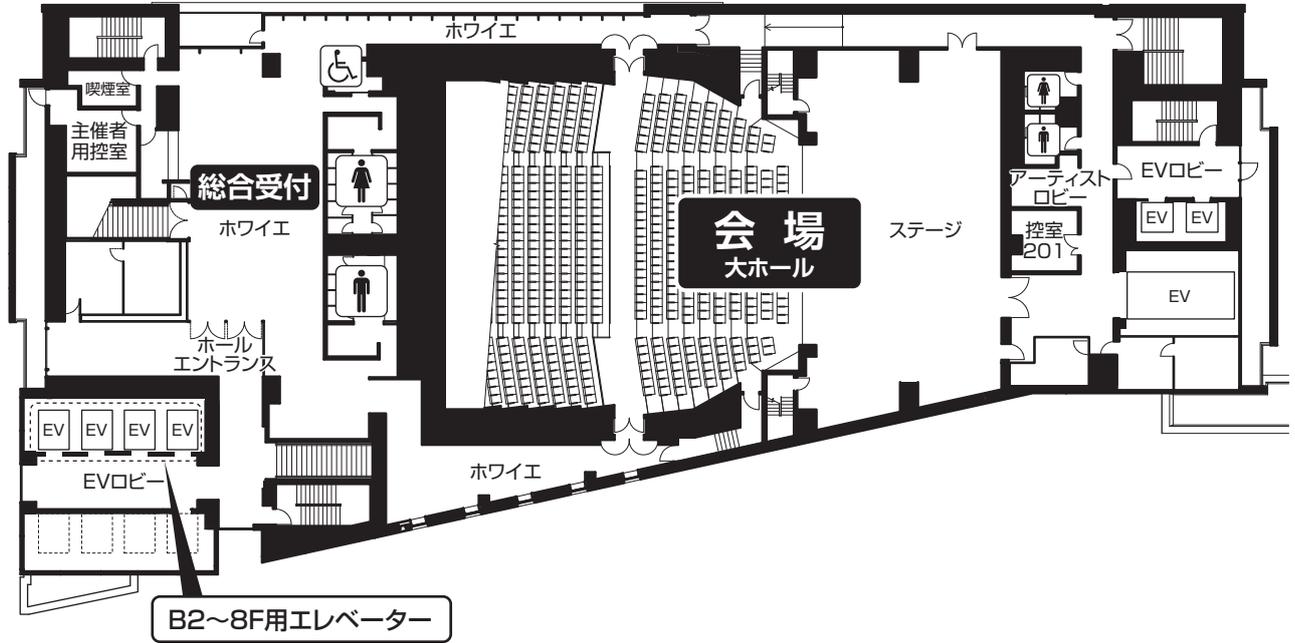
■ 飛行機をご利用の場合

中部国際空港(セントレア)より名鉄空港特急利用で約28分

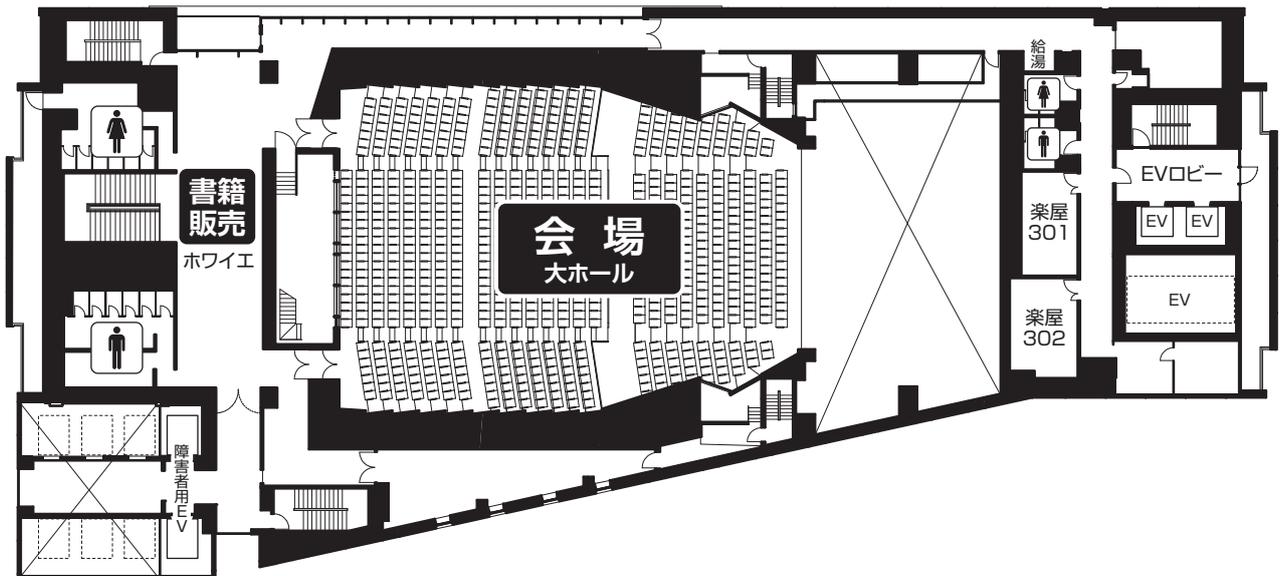
※名古屋駅発各駅への所要時間は、乗り換え・待ち時間を含みません。
また、時間帯により多少異なります。

会場案内

2F



3F



座長・演者の方々へのご案内

●座長へのお願い

1. セッション開始5分前までに次座長席へお越してください。
2. 担当セッションの発表が予定時間内に終了するように進行してください。
3. 進行は座長に一任いたします。

●口述発表演者へのお願い

1. 開始5分前までに次演者席へお越してください。
2. 口述発表は7分間の発表と3分間の質疑応答があります。
3. 発表終了の1分前と終了時間に合図をいたします。発表時間の厳守をお願い致します。
4. プレゼンテーションファイルの枚数制限はありませんが、制限時間内に終了するようにしてください。なお発表の際には、演台にセットしてあるモニター、マウス、キーボードを使用し、演者自身で操作を行ってください。

日本作業療法士協会生涯教育制度基礎ポイントについて

本学会は、生涯教育制度の基礎ポイント対象学会です。

学会参加	1ポイント
学会発表	1ポイント

生涯教育基礎研修ポイントの申請には、参加証明書が必要となりますので大切に保管下さい。なお、参加証明書の再発行は応じかねますので、十分注意して下さい。

ポイントの申請については、各自で各都道府県士会・日本作業療法士協会へ申請を行ってください。また申請に関しての問い合わせは、各都道府県士会・日本作業療法士協会へお願いいたします。

プログラム

9:30～ 受付開始

9:55～〈5〉 開会式

10:00～11:00〈55〉 教育講演

司会：小松 勝幸（大阪南医療センター）

「関節運動学的アプローチ - 博田法の捉え方」

農端 芳之（独立行政法人 国立病院機構京都医療センター リハビリテーション科）

11:00～12:20〈80〉 特別講演

司会：池谷 和弘（リハブ土田）

「AKA- 博田法という技術 ～その魅力～」

博田 節夫（日本 AKA 医学会 会頭、日本 AKA 医学会理学・作業療法士会 顧問）

12:20～13:15〈55〉 昼 食

13:15～13:20〈5〉 来賓紹介

13:20～14:50〈90〉 シンポジウム

司会：松本 啓孝（相川医院）

「AKA- 博田法の魅力 ～脳血管疾患に対する AKA- 博田法の活用～」

S1 急性期の立場から

伊藤 浩一 国立病院機構奈良医療センター

S2 回復期の立場から

永堀 造男 横浜新緑総合病院

S3 慢性期・維持期の立場から

梶原 隆男 医療法人桜珠会 可也病院

S4 外来の立場から

池谷 和弘 リハビリテーションクリニック リハブ土田

S5 訪問によるサービス提供を実施する立場から

前田 智秀 宇部リハビリテーション病院

14:50～15:00〈10〉 休 憩

関節運動学的アプローチ - 博田法の捉え方

農端 芳之

独立行政法人 国立病院機構京都医療センター リハビリテーション科

Key word : 関節運動学的アプローチ-博田法・捉える

関節運動学的アプローチ (arthrokinematic approach : AKA) - 博田法 (Hakata method) (以下 AKA-H 法と略す) は理論が明快で理解しやすいが、技術の習得は非常に難しく修練が必要な治療技術であります。成書を熟読しても、研修会に参加しても、AKA-H 法を臨床で十分に役立てられないという事をよく言われます。

関節運動学的アプローチ医学会理学・作業療法士会は、AKA-H 法の研究発展と普及を目的に設立されました。しかし、現状ではまだ十分にその目的を果たしているとは言えません。今回、会員の皆さんが AKA-H 法を臨床で十分役立たせることができる契機となるように願って、発表いたします。

まず「捉える」とは、どういう意味なのでしょう。国語辞典には、物事の本質・内容などを理解して自分のものとする。把握する。となっています。また、認知言語学では、ただ単にその意味が包含する概念的内容を指すのではない。それと同様に重要なのは、概念的内容をいかに能動的に解釈するかである。我々人間のそうした概念内容に対する能動的な心的能力を捉え・解釈と呼ぶ。となっています。

従って、AKA-H 法の成書などの表現内容を概念的に十分理解していることにとどまらず、概念的内容を用いて能動的に患者に対し AKA-H 法を用いて問題解決できる状態を「捉えた」状態であると考えます。臨床現場で「捉えた」と思われる治療を紹介し、AKA-H の捉え方について示唆できれば幸いです。

特別講演

Special Lecture

AKA-博田法という技術 ～その魅力～

博田 節夫 先生

日本 AKA 医学会 会頭

日本 AKA 医学会理学・作業療法士会 顧問

司会：リハブ士田 池谷 和弘

AKA- 博田法という技術 ～その魅力～

博田 節夫

日本 AKA 医学会 会頭、日本 AKA 医学会理学・作業療法士会 顧問

関節運動学的アプローチ (arthrokinematic approach: AKA)-博田法を知る人にとっては、その魅力をきかれればまず即効性と答えるであろうが、それにもまして魅力的なのは、AKA-博田法により発見された幾多の新事実である。

AKA-博田法は当初、伝統的運動療法の欠陥を補う技術として開発されたが、その過程において、筋骨格系の痛みにも有効なことがわかり、痛みの治療技術としても発達した。運動療法に関していえば、その欠陥を補うには AKA-博田法はなお不十分で、その不足を補うために開発されたのが関節神経学的治療法 (articular neurological therapy: ANT) である。ANT もまた即効性があり、AKA-博田法と ANT により多くの謎が解明され、新事実が発見された。それらを痛み、運動機能、および神経系機能に分けて説明する。

1. 痛み

① 筋骨格系疼痛

非特異的腰痛、頸肩腕症候群など原因不明であった痛みの殆どは関節原性であることが判明した。

② 関節原性の痛み

とくに関節包内運動の障害である関節機能障害と非特異的無菌性関節炎が、AKA-博田法の治療対象となる関節原性の痛みである。いずれも一次性障害は殆ど仙腸関節に発生する。関節機能障害のうち関節機能異常は AKA-博田法により1週間で治癒し、関節包内運動は正常に回復する。関節炎は単純性と特殊型に分類され、前者は2-3ヶ月で治癒し、関節包内運動は正常に回復する。後者は関節包内運動の制限が残り、再発を繰り返す。その一部は RSD と推測される。関節原性の痛みには局所痛、運動痛、関連痛がある。

③ 筋肉痛

運動後の筋肉痛は関節原性で、AKA-博田法により痛みは即座に著減する。慢性の筋肉痛は AKA-博田法により容易に消失するものと、反応しないものがある。反応の悪いものには ANT が有効である。

④ 脊髄損傷麻痺部の痛み

脊髄完全損傷麻痺部の痛みも AKA-博田法により消失する。したがって、関節原性の痛みの伝達には脊髄外の経路も存在すると推測される。

⑤ 幻肢痛

幻肢痛は AKA-博田法により消失するので、関節原性である。

⑥ RSD の痛み

反射性交感神経性ジストロフィー (reflex sympathetic dystrophy: RSD) あるいは複合性局所疼痛症候群 (complex regional pain syndrome: CRPD) タイプ I といわれる痛みも AKA-博田法に反応するものがある。AKA-博田法に反応しないものでも ANT で痛みが抑制されるものがある。

⑦ 足関節部捻挫の痛み

この捻挫の痛みは靭帯損傷・皮下出血の有無にかかわらず、AKA-博田法により即座に消失する。

⑧ その他の痛み

器質的疾患に合併する痛みも、AKA-博田法により消失するものと、AKA-博田法に反応する痛みを合併するものがある。

2. 運動機能

① 伸張運動

他動構成運動により関節面の運動を誘導すれば、伸張運動における痛みは発生しない。したがって、関節包内運動の障害が伸張運動における痛みの原因である。

② 仮性拘縮と真性拘縮

拘縮のある関節以外の関節の AKA-博田法により、関節可動域が正常になるものを仮性拘縮とし、可動域制限が残るものを真性拘縮として分類した。例えば、肩関節の可動域制限があるとき、仙腸関節、肋骨の関節、胸鎖関節、椎間関節などの AKA-博田法により、可動域が正常になれば肩関節の仮性拘縮で、可動域制限が残れば肩関節の真性拘縮である。

③ 結合織の緊張

関節静的反射 (arthrostatic reflex) は結合織の緊張に関与する。この反射機能が低下すると、関節包・靭帯は弛緩し、亜脱臼を起こすこともある。

④ 筋収縮

他動構成運動、および抵抗構成運動は関節運動反射 (arthrokinetic reflex) を促進し、筋収縮を増強する。

⑤ 関節受容器機能と副運動技術

AKA-博田法副運動技術は関節受容器機能を改善する。

⑥ 軟部組織の弛緩と筋収縮力

ANT は関節静的反射を抑制し、関節運動反射を促進する。したがって、筋収縮力は増大し、軟部組織は弛緩する。

⑦ 神経原性協調性障害、不随意運動

ANT は神経原性協調性障害を改善し、不随意運動を抑制する。

⑧ 関節原性協調性障害

協調性障害には関節原性のものがあり、これには AKA-博田法副運動技術が有効である。

⑨ 筋力低下

筋力低下には関節原性のものがある。これは関節機械受容器の機能が低下し、関節運動反射が起りにくいときにみられる。

AKA-博田法による仙腸関節副運動が歩行に及ぼす影響 ～矢状面の足関節の動きに注目して～

○平方 則行

踊場さかいだクリニック PT

Key word : 矢状面の歩行分析・AKA-H 博田法・仙腸関節副運動・関節受容器

【はじめに】 関節運動学的アプローチ AKA-博田法(以下 AKA-H 法)は、関節包内運動の改善をする技術で痛みに著効を示すことは周知の事実である。さらに動作面においても「歩くのが楽になった」「足が軽くなった」などの声を耳にする。そこで今回は、AKA-H 法の仙腸関節副運動技術が歩行に及ぼす影響について検証したので以下に報告します。

【対象・方法】 今までに下肢・腰部に特定の疾患のない正常と思われる男女10名(各5名)(年齢24～38歳)

1. 対象者に大転子・膝外側中央・外果・中足骨底・小趾末節骨にそれぞれランドマークし10m歩行を実施し、その歩容を矢状面よりビデオ撮影し、同時に歩数・秒数を記録した。
2. AKA-H 法による仙腸関節副運動技術を指導助手1名が実施した。再度歩行を行い、AKA-H 法前後で歩行が「楽になっているか?」「変わらないか 悪くなっているか?」を評価した。
3. ビデオ撮影したものは、静止画にし、(1歩行周期で20静止画)股関節・膝関節・足関節の角度をImageJにより測定し、歩行各立脚相を①立脚初期(踵接地期-荷重応答期) ②立脚中期(立脚中期-立脚終期) ③立脚後期(前遊脚期)に分け、AKA-H 法前後の各関節角度の変化を正常歩行(Perry 歩行時の標準的な運動)と比較した。

【結果】

1. AKA-H 法後の歩行の感触が「楽になった」と答えた6名：平均秒数7.75秒→7.53秒、平均歩数16.5歩→15.5歩。「変わらない・悪くなっている」と答えた4名：平均秒数8.19秒→8.15秒、平均歩数17.25歩→17.25歩。
2. AKA-H 法後「楽になった」群の歩容変化では、足関節を中心に正常歩行数値に近づく傾向があった。「変わらない・悪くなっている」群の歩容変化では、正常歩行より離れるもの、変わらないもの、近づくものがあり一定の傾向は得られなかった。

【考察・まとめ】 AKA-H 法前後の感触については「楽になった」群と「変わらない・悪くなっている」群について AKA-H 前の歩容を確認すると、「楽になった」群は「変わらない・悪くなっている」群と比べ、特に足関節で正常歩行の数値から離れている傾向がみられ、また歩行・歩容の変化は「楽になった群」に多く見られた。

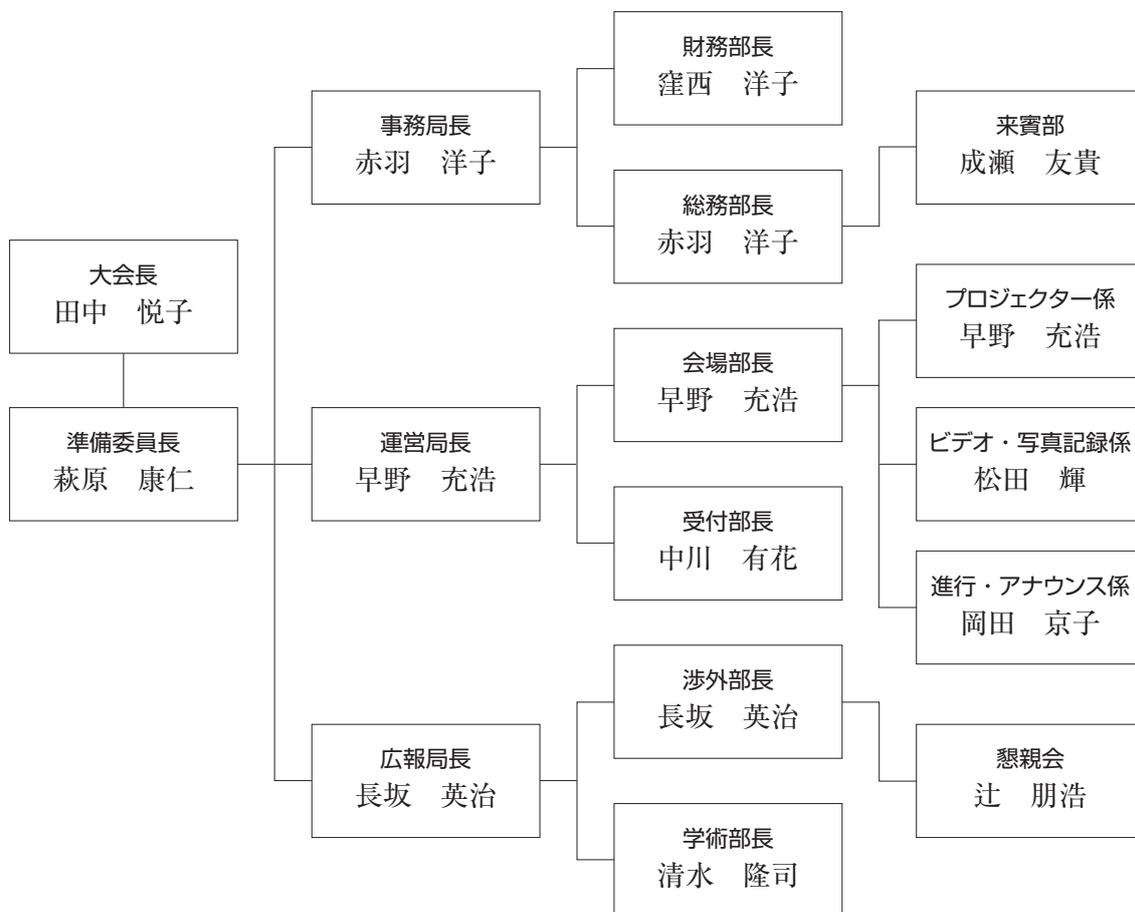
このことから、「楽になった」群で関節機能異常が存在していた可能性があり、AKA-H 法による仙腸関節副運動技術により Arthrostatic hyper-reflex chain の解除が起これ、軟部組織が弛緩し Arthrokinetic reflex が高められることで足関節の機能が向上し歩容が正常に近づいたと思われた。

学術集会開催一覧

	会 期	学 会 長	開催地	会 場	テ ー マ
第1回	2000/7/23	農端 芳之	大 阪	コスモスクエア 国際交流センター	AKA の基礎と臨床
第2回	2001/6/24	農端 芳之	大 阪	大阪国際交流センター	脳卒中に対する AKA の臨床応用
第3回	2002/7/21	農端 芳之	大 阪	大阪国際交流センター	各疾患別の治療の実際
第4回	2003/7/21	坂本 周介	福 岡	ももちパレス	関節へのアプローチ
第5回	2004/7/11	橋田 薫	神奈川	関内ホール	臨床における AKA と ANA
第6回	2005/7/10	井端 康人	大 阪	よみうり文化ホール	
第7回	2006/7/9	真砂 恵一	山 口	ぱるる山口	Joint
第8回	2007/7/1	坂本 周介	福 岡	福岡国際会議場	AKA-博田法と治療技術
第9回	2008/7/20	田中 悦子	愛 知	ウィルあいち	AKA-博田法による 理学・作業療法の再生
第10回	2009/6/28	井端 康人	大 阪	メルパルク OSAKA	AKA-博田法の核心に迫る
第11回	2010/7/3.4	吉田 純	東 京	日本教育会館	AKA-博田法の10年
第12回	2011/7/10	杉尾 秀一	福 岡	アクロス福岡	AKA-博田法・ANT の 技術と臨床効果
第13回	2012/ 10/7.8	真砂 恵一	高 知	高知県民文化ホール	AKA-博田法について職域を こえておおいに語ろう
第14回	2013/7/21	田中 悦子	愛 知	ウインクあいち	AKA-博田法の魅力
第15回	2014/6/22	前 宏樹	大 阪	メルパルク OSAKA	

学術集会組織図

日本 AKA 医学会 PT・OT 会 第 14 回学術集会準備委員



運営委員

南 亮平	松田 直哉	川村 優貴	磯貝 直広	松田 一郎	竹内佐知恵
藤掛 航	高田 健治	鈴木 将祐	玉田 淳也	井辻 智規	出口 早希
松本 竜也	服部 弘治	吉野 太一	松園 温子	向田 悦子	吉野 実里
市木 奈苗	吉岡 裕介	石原 慶介			

(順不同：6/28現在)

次期学術集会開催予定

第15回 学術集会

日 時：2014年6月22日（日）

場 所：メルパルク OSAKA

学会長：前 宏樹

編集後記

今回の学会は、「AKA-博田法の魅力」をテーマと致しました。より多くの会員諸氏が学会に参加し、臨床の疑問や最新の知識を習得して頂きたい想いで、運営スタッフ一同準備を進めてまいりました。AKA-博田法を正しく理解し、技術習得するには僅かな進歩にさえ、多くの時間と労力を費やします。専門家と言える技術をさらに追求し、「AKA-博田法の魅力」について多くの仲間たちと交流し、伝えるきっかけになれば幸いです。

今学会では、こうした趣旨に基づき、プログラムを博田節夫先生の特別講演、農端芳之先生による教育講演、シンポジウム、一般演題としました。

いずれも意義深く改めて考えさせる内容として、AKA-博田法の魅力・基本的事項を各先生方に、シンポジウムでは脳血管疾患の病期ごとの問題点を踏まえた理学・作業療法の進め方をご講演頂き、また演題発表にて多くの示唆に富んだものをお伝えできるものと思います。

最後に、本学術集会開催にご理解とご支援を頂きました皆様にこの場を借りて深謝申し上げます。また、本学術集会の運営にご協力・ご尽力を頂きました諸先生方、ならびに運営スタッフの皆様には厚く御礼申し上げます。

準備委員長 萩原 康仁

日本関節運動学的アプローチ医学会理学・作業療法士会 第14回学術集会(愛知)抄録集

学術集会長：田中 悦子

編集責任者：萩原 康仁

事務局：名古屋市総合リハビリテーションセンター 理学療法科
〒467-8622 名古屋市瑞穂区弥富町蜜柑山1-2
TEL 052-835-3811(代) FAX 052-835-3724(代)
E-mail: aka_tokai@yahoo.co.jp

出版：Secand 株式会社セカンド
株式会社  学会サポート <http://www.secand.jp/>

〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL: 096-382-7793 FAX: 096-386-2025

